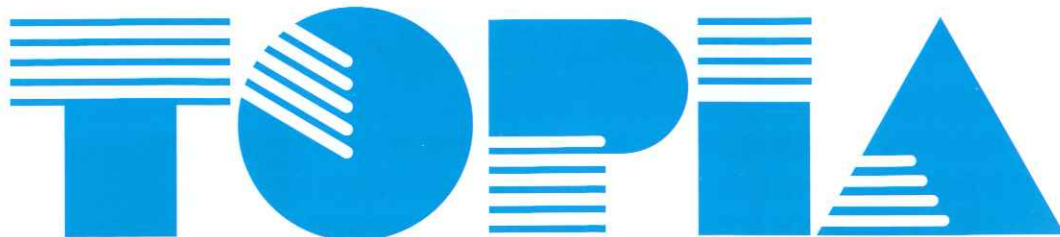


第62号



2015.01



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL: 088-656-3303



謹賀新年



年頭のご挨拶

理事長 蛭多 克好



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましても、心身共にリフレッシュされ、新しい年をお迎えになられたことと存じます。

当協会は、平成2年の発足以来、本県における中核的国際交流団体として、地域の国際化に取り組んできており、また、昨年度からは公益財団法人へ移行し、決意も新たに協会の運営に当たっているところであります。

当協会では、外国人を対象として、観光案内や生活相談、当機関誌や情報誌（英語・中国語）の発行、日本語教室の開催、また、防災意識の啓発として、防災ハンドブックの作成・配布、出前講座の開催、防災センターでの研修などに取り組んでおります。

また、国際交流、国際理解に関心のある方々に対しては、ボランティア登録や研修の実施、フォーラムの開催、学校や自治体などに在住外国人やNGO関係者を講師として派遣する事業、県内学生のインターンシップの受け入れ、当協会に団体登録をしている県内国際交流団体への会議室の無料貸出を行っております。

さらに、両者の交流を促進する事業として、「あそわ連」を組織しての阿波踊り、中高校生を対象に外国語指導助手との2泊3日の夏期英語セミナー、外国人による日本語弁論大会、留学生を登録ボランティア宅でホームステイ・ホームビジットしていただく事業などを開催しているところであります。

今後ともこうした事業の不断の見直しを行い、国際交流、国際理解、多文化共生の促進に努めてまいりたいと考えております。

どうか皆様方におかれましては、お気づきの点がございましたら、お気軽にご意見、ご提言をいただきますとともに引き続き当協会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、より良い年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

平成 26 年度徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議

平成元年には、徳島県内に在住する外国人の登録者数は 828 人でしたが、平成 25 年 12 月末には、約 6 倍の 5,002 人となっています。また、地域社会で対応すべき在住外国人の方々が抱える問題や悩みも様々なものとなってきています。そのような状況を踏まえ、在住外国人の生活相談に関与する関係機関・団体相互の連携の強化を目的として、「徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議」を設置しています。

今年度は平成 26 年 11 月 15 日（水）に会議を開催し、県教育委員会学校政策課から帰国・外国人児童生徒にかかる現状や課題について、徳島労働局労働基準部監督課から外国人技能実習生にかかる取り組みについて、県警察本部警務部情報発信課からは被害者支援のための相談窓口案内などについての説明があり、情報・意見交換を行いました。

この会議を通して今後も在住外国人をとりまく様々な問題に対してより円滑な対応ができるよう、十分連携をとった取り組みを行っていききたいと思います。



防災センター・スタディ・ツアー

南海トラフ巨大地震（南海トラフを震源とする M8～M9 クラスの地震）の発生確率は、今後 30 年以内に 70% 程度と予測され、震度 7 の強い揺れにより甚大な被害を及ぼすと想定されています。そのため、地震に対する知識を持ち、日頃から備えを整えておくことにより、被害を最小限に食い止める必要があります。

県内在住の外国人の中には、地震を全く経験したことがない方、地震のない国から日本に来た方もいらっしゃいます。当協会では、そのような方々に地震やその他様々な災害について学び、日々の備えに生かしてもらうことを目的とし平成 26 年 9 月 28 日（日）に防災センター・スタディ・ツアーを開催し、7 カ国 24 名の方々が参加して下さいました。

最初に、防災ガイダンスのコーナーで、徳島県が作成した「津波から命を守る」の映像を見ながら地震から発生をする津波の仕組みや発生時の対処法を学びました。過去の大地震の写真や映像、また図解による津波の説明などを参加者は真剣に見ていました。

続いて、阪神・淡路大震災と同規模の地震体験、また、消火、煙、暴風の体験をしました。体験終了後、参加者たちはここで学んだ知識を参考として災害に対して備えができるようにしたいと話していました。



防災出前講座

当協会では、在住外国人の方を対象に、地震や津波から身を守るための防災ノウハウなどを啓発するため、やさしい日本語または英語・中国語による防災出前講座も実施しております。外国人の方が所属されている関係者の方でご希望の方は、ぜひ、ご活用ください。



新規外国語指導助手 (37 人) 対象の講座
(H 26 年 8 月 15 日)

ホームステイ・ホームビジット

当協会では徳島地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とご家庭を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。今年度は平成26年11月8日（土）から9日（日）に、徳島県在住の留学生26名がホストファミリーの方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。

ホームステイの受入をしていただいたホストファミリー、そして参加をした留学生たちの感想を紹介いたします。

ホストファミリーからの感想

- ・遠い国からやって来た若い人たちと出会い、友達になることができました。
- ・今回の経験といただいたご縁は、私たち家族の宝になります。
- ・滞在に来てくれた2人が、とても礼儀正しくて清々しい気持ちになりました。
- ・娘と同年代なので、おしゃれには敏感なようです。私の方が、娘の心配事の相談に乗ってもらったり、恋愛話をしたり、若返ったような気がします。不慣れな私ですが、少しでも楽しんでくれてたなと思います。
- ・留学生から母国の話や現在の学校生活の話が聞けたことがよかったです。
- ・今回、台湾の青年だったので台湾の料理の事で日本人が驚く事なども聞けました。
- ・日本にいる間はまた、遊びに来てもらう事になりました。長男と英語で話をしてくれるので勉強にもなり非常に助かりました。
- ・2日間、とにかく楽しかったです。留学生3人とうちの息子・娘とわいわい家族のこと、自分の未来について話したこと、留学生の1人がちょうど誕生日で、誕生日会を開いたこと、カラオケに行ったことが特に楽しかったです。
- ・中国の教育システムや文化について知ることができました。



ホストファミリーと楽しくゲーム中！

留学生からの感想

- ・ホストファミリーのお母さんと一緒にご飯を作りました。子ども達と一緒に遊びました。そして夜いっぱい話して楽しかった。
- ・みんな一緒に私の誕生日ケーキを作って祝ってくれて大満足でした。一生で忘れない思い出をありがとうございます！
- ・天ぷらとたこ焼きを作りました。ホストファミリーはとてもやさしいです。いろいろなことを話して楽しかったです。
- ・みんなで一緒に和食を作りました。日本人にとっては簡単な料理かもしれませんが、私は色々と勉強になりました。
- ・日本の文化と生活スタイルを体験して、本当に楽しかったです。
- ・日本人といろいろ話したり、一緒に料理を作ったりして、とてもよかったです。
- ・みんなで一緒にたこ焼きを作って、歌って、色々な観光地にいきました。
- ・日本人の同年代の方といろいろな話ができて良かったと思います。日本語会話の練習にも役立てると思います。
- ・ホストファミリーのみんなは日本語でゆっくり話しかけてくれました。
- ・新しい人との出会い、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



ホストファミリー大募集中！

皆様も留学生と過ごす中で、異文化のことについて学び、心の国際交流をしてみませんか？詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。申込書は当協会のホームページ（とくしま国際戦略センター）の「各種申請・会員（ボランティア）募集」からダウンロードできます。



職場体験生徒の受入

当協会では、国際交流や国際理解に関心を持つ県内の中学生や高校生などの職場体験を受け入れています。当協会の国際交流員や窓口相談員、JICAの国際協力推進員などから国際交流・協力について学ぶとともに、外国人のための日本語教室への参加や外国人観光客への案内などを通じて、外国人の方と実際にコミュニケーションを図る体験をしてもらっています。

今回は、平成26年11月20日・21日に職場体験をした城ノ内中学校の5人の生徒の皆さんの感想から、その一部を紹介します。

この2日間を通して、「働く」ということの難しさや楽しさを学ぶことができました。今までも海外に興味があったのですが、今回、TOPIAでの職業体験を通じて、ますますその気持ちが強くなりました。日本語教室の参観や中国からの国際交流員と多言語相談員、外国人お遍路の方とのお話などでは、日本と海外との違い、外国人からみた日本などの普段では気づかないことに沢山気づくことができました。また、英語の勉強は机の上でするよりも、やはり外国の方とのコミュニケーションを図る方が勉強になると思いました。そして身近にいる外国人に差別の目を持たず、また家族や親戚などにも今回学んだことを紹介したいです。

今回の職場体験では、たくさんのことを学ぶことができました。日本語教室では、他の国の言語を学ぶことの難しさや、日本語の奥深さを知ることができました。また、日本語だけでなく、日本の文化についても教えると知って驚きました。職業体験中に、何人かの外国の方とお話する機会があり、英語を聞き取るのに精一杯だったので、あまり自分から話すことはできなかったのですが、私が知らない外国のことを沢山知ることができて良かったです。また外国の方と話す機会があったら自分から積極的に話したいです。他にも書き切れないほど沢山のことを学ぶことができたので、これからの勉強や生活に生かしたいです。

今回の職場体験を通じて沢山のことを学ぶことができました。日本語教室の参観では新たな視点から日本語に触れることができました。また、教室に通っている外国人の日本語の上手さにとても驚きました。その他にも、日本語教室を通じて、生活に役に立つことを教えたら、いろいろなものを使って教えていてすごいと思いました。国際理解学習では、日本と他の国のつながりがよくわかりました。また、実際にTOPIAに観光情報を聞きに来ていた外国人の方とコミュニケーションができた事がうれしかったです。しかし、英語で積極的に会話するのに慣れるまで大変でした。将来、私もこのように外国の方とつながりのある職業に就きたいと思いました。



日本語クラスでの様子



中国の国際交流員からのお話

外国人への遍路体験講座を開催

NPO法人 徳島共生塾一步会
理事長 新開善二 氏

平

成 26 年は四国八十八ヶ所霊場開創 1200 年の年でありました。この機会に外国人に遍路文化への理解を深めていただくために、NPO 法人徳島共生塾一步会は県内在住の外国人対象に歩きお遍路の体験講座を平成 26 年 10 月 19 日（日）と 12 月 6 日（土）に開催しました。参加者たちは中国、米国、台湾、韓国、カナダ、インドネシア、モンゴル、クロアチアなどの出身でした。

1 回目は 16 名が 13 番札所大日寺をスタート、17 番井戸寺までの徳島 5 ヶ所霊場 8 キロを歩きました。2 回目は 20 名が 1 番札所霊山寺から 5 番地藏寺までの 12 キロを歩きました。白衣や菅笠、金剛杖などの遍路衣装を身につけ、札所では公認先達より、お線香やろうそくの供え方などの参拝手順やマナーを教えていただき、本堂、大師堂では「南無大師遍照金剛」を大きな声で唱えて合掌参拝しました。道中では地域の方か

ら、お菓子や柿のお接待もあり、全員元気に楽しい体験となりました。

この事業は「四国遍路は世界万国共有の文化」と四国知事の緊急宣言を踏まえて、私たち市民団体が具体的な啓発活動として実施したものです。同会ではこの事業を毎年継続する予定で遍路文化への理解を県内在住の外国人から世界の多くの人に広げて参りたいと思っております。



13 番大日寺の住職とみんなで記念撮影

遍路体験を通じて学んだこと

タニーシャ キャンベルさん
(カナダ出身)

私

のお遍路体験は一日中とても充実していました。13 番札所から 17 番札所までの遍路道はとても長く、歩いている途中に何回もストレッチをしなければいけませんでした。歩いているときにアメリカ人と日系アメリカ人のカップルと出会い、私と同じように外国から日本の文化に溶け込もうとしている外国人もいると知り、疎外感がなくなり、安心した気持ちになりました。

今回の体験で訪れた 5 つの札所で私が一番気に入ったのは徳島市国府町にある国分寺でした。国分寺には巨大な石をふんだんに使った豪快な日本庭園があり、それを管理している僧侶は中国へ 50 回以上も訪れたことがあるそうです。この庭園は僧侶が中国で見てきた庭園の影響を沢山受けていると言っていました。とにかく、想像以上の驚きでした。

私はこれまでに旅行情報雑誌、インターネットなどで日本庭園の写真を見たことがありましたが、国分寺の庭園はいままで見てきた庭園とは全く異なっていました。その庭園を初めて見たときに、私は悟りの境地

に足を踏み入れたのかと感じました。上手に説明はできませんのですが、この庭園を訪れたときにとっても感動をし、世界がまるで違ったように見えて、何か引きつけられるものがありました。



15 番札所 国分寺にて

私はおそらく、はじめて日本に来て感じたことと、カナダに戻って感じたことと異なった気持ちの状態になりました。私は、自分自身についてもっと学ばなければならないことに気づかされ、これからは他の景勝地や思い出に残る場所を訪れたとき、このような思いを再び感じ発見することを楽しみにしたいと思います。

平成 26 年度 国際理解支援フォーラムご案内

徳島県在住外国人の皆さんと一緒に「多文化共生」について考えてみませんか？

日 時：平成 27 年 2 月 8 日（日）13:30～16:00

場 所：（公財）徳島県国際交流協会 会議室（徳島駅ビル 6 F）

内 容：

第一部 蓮井 孝夫 氏による講話

（NPO 法人 香川国際ボランティアセンター代表理事、元 RNC 日本放送アナウンサー）

第二部 協会登録在住外国人講師による国際理解プレゼンテーション

第三部 意見交換 交流会

* 第三部では、在住外国人の方のパフォーマンスや心ばかりのお茶やお菓子もあります。在住外国人の方とすてきなひとときを過ごしませんか？ふるってご参加ください。

* 入場料は無料



申し込み・問い合わせ：当協会 Tel. 088-656-3303 FAX. 088-652-0616

E-mail: coordinator3@topia.ne.jp

詳細については、当協会のホームページをご覧ください。http://www.topia.ne.jp

当日参加も大歓迎ですが、できれば事前に電話か FAX またはメールでお申し込みください。

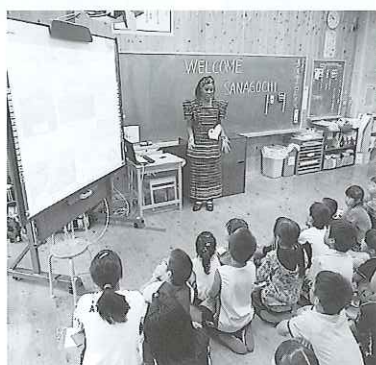
国際理解教育を応援します

国際理解支援講師募集中！

在住外国人の皆さん！
～母国と日本の交流の
架け橋となりませんか～

ご自身の国の文化や生活、異文化理解、人権・平和について学校の子どもたち等に語ってくださる県内在住外国人の方を募集しています！

（日本語である程度、日常会話ができる方）



国際理解支援講師派遣依頼募集中！

楽しく、愉快地
多文化交流&異文化理解！

多文化共生に向けた意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関などが行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。ふるってご応募ください！



JICA ボランティア 青年海外協力隊 50 周年!



青年海外協力隊は、1965 年初代隊員がラオスに派遣されてから、2015 年で 50 周年を迎えます。

これまで、約 4 万人が世界 88 カ国でボランティアとして活動してきました。

徳島県から出発した JICA ボランティアは累計 270 名。今も 15 名が活躍中です。

徳島県から出発した JICA ボランティアの皆さん



理数科教師 マラウイ



障害児支援 バングラデシュ



感染症対策 ニカラグア



助産師 グアテマラ



村落開発 ケニア

JICA ボランティア「世界に笑顔を広げるシゴト」

日本では当たり前のことでも世界では夢みたいなきことがたくさんあります。

今、たくさんのボランティアの力で、私たちの技術・知識・経験が世界の人たちの夢を叶える力になっています。

アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東の人々のために、自分の持っている経験を生かしてみたい。

そうした強い意欲を持っている方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

(活動分野例)

コンピュータ技術、小学校教育、理科教育、野菜栽培、看護師、障害者支援、自動車整備、品質管理、コミュニティ開発、スポーツなど。

対象

青年海外協力隊：20～39 歳、シニア海外ボランティア：40 歳～69 歳 ※いずれも日本国籍を持つ方。

募集期間は年 2 回（春・秋）。4 月に（公財）徳島県国際交流協会で開催説明会を行う予定です！

お問合せ先【JICA 徳島デスク（TOPIA 内）】

TEL：088-656-3303 FAX：088-652-0616

E-mail：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」

募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

近年、気象の変化に伴い台風などをはじめ、南海トラフ巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語 電話相談・窓口案内を行っています

県内に在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごございます。是非、ご利用ください。

英語担当：池上 中国語担当：藤原

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度

団体会員 一口 5,000 円 / 年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

機関誌「TOPIA」記事募集中！

当協会に登録されている団体で、機関誌「TOPIA」に掲載する記事を募集しています。貴団体の国際交流活動等を紹介しませんか？詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。

「多文化共生の社会づくり」 パネルを貸し出します

あいばーと徳島と当協会では、外国人の方の人権にスポットをあてた人権啓発パネルを新しく作成しました。講演会や研修会などの際に、このパネルと一緒に展示しませんか？無料貸出しいたします。当協会にお申し込みください。



編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2014年は皆様にとってどんな年でしたでしょうか。昨年いろいろな出来事などがありましたが、私の中では徳島に縁のある方がノーベル物理学賞を受賞したことが印象に残っております。

2015年はいったいどのような年になるのか楽しみにしております。私は今年も国際交流を通じて徳島を世界に発信できるよう尽力に努めたいです。

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61

クレメントプラザ 6F

Tel : 088-656-3303

Fax : 088-652-0616

URL : <http://www.topia.ne.jp>

Email : topia@topia.ne.jp

